

東映アニメーション株式会社

2017年3月期 決算説明会 (2016/4~2017/3)

『正解するカド』

2017年4月よりTOKYO MX・MBS・BSフジにて放送中



正解するカド

KADO : The Right Answer



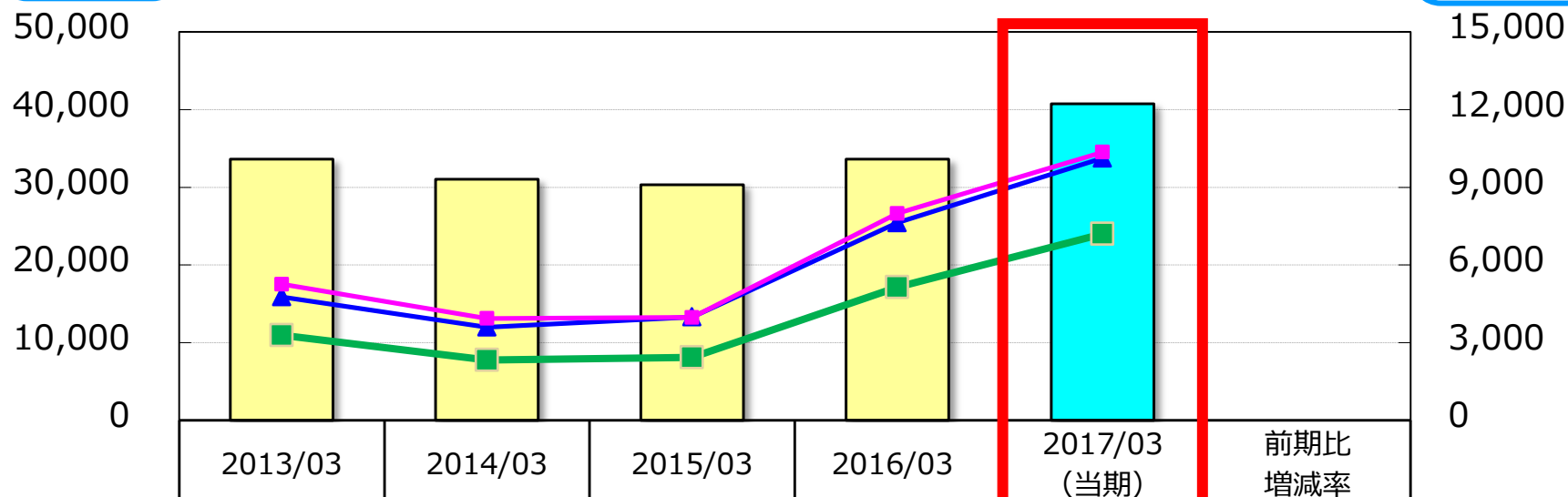
2017年3月期決算(連結)

- 大幅な増収増益で売上高、利益とも過去最高額を記録
- 映画「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーン効果
- 国内外で映像配信権やアプリゲーム化権が拡大、海外での大口商品化権MG受注

売上高

(単位：百万円)

利益



売上高	33,644	31,027	30,313	33,612	40,747	21.2%
売上原価	24,114	22,270	20,741	20,809	25,204	21.1%
販管費	4,759	5,155	5,576	5,167	5,409	4.7%
営業利益	4,770	3,602	3,996	7,635	10,133	32.7%
経常利益	5,259	3,940	3,978	7,995	10,362	29.6%
当期純利益	3,290	2,333	2,437	5,145	7,203	40.0%

2017年3月期 セグメント別内訳(連結)

(百万円)		2016年3月期	2017年3月期	増減率
映像製作・販売事業	売上高	14,005	15,939	13.8%
	セグメント利益	3,298	3,491	5.8%
著作権事業	売上高	13,803	18,192	31.8%
	セグメント利益	6,157	8,682	41.0%
商品販売事業	売上高	4,654	5,531	18.8%
	セグメント利益	6	186	2917.9%
その他事業	売上高	1,320	1,315	△0.4%
	セグメント利益	34	41	21.2%
連結	売上高	33,612	40,747	21.2%
	営業利益	7,635	10,133	32.7%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2017年3月期 セグメント別分析①(映像製作・販売)

(百万円)	16/03 実績	17/03 実績
売上全体	33,612	40,747
営業利益	7,635	10,133
映像製作・販売事業	14,005	15,939
劇場アニメ	1,032	1,765
テレビアニメ	3,073	3,254
コンテンツ	1,173	942
海外映像	6,662	7,860
その他	2,063	2,117
版權事業	13,803	18,192
国内版權	8,880	10,439
海外版權	4,923	7,752
商品販売事業	4,654	5,531
その他事業	1,320	1,315

映像製作・販売事業 (↑ 前期比13.8%増)

- 「劇場アニメ」は、「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットにより大幅な増収
- 「テレビアニメ」は、放映本数の減少があったものの、ゲーム向け等音声製作が好調だったことにより増収
- 「コンテンツ」は、ゲーム向け等音声製作をテレビアニメ部門に組み替えたため、大幅な減収
- 「海外映像」は、中国向け大口映像配信権の販売と、全世界で「ドラゴンボール」シリーズのテレビ放映権、中南米向け『ドラゴンボールZ 復活の「F」』及びアジア向け「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場上映権の販売が好調に推移したことから、大幅な増収
- 「その他」は、「聖闘士星矢」のソーシャルゲームのサービス終了の影響があったものの、定額映像配信市場の拡大もあり、映像配信権の販売が好調に推移したことから、増収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2017年3月期 セグメント別分析②(版權・商品・その他)

(百万円)	16/03 実績	17/03 実績
売上全体	33,612	40,747
営業利益	7,635	10,133
映像製作・販売事業	14,005	15,939
劇場アニメ	1,032	1,765
テレビアニメ	3,073	3,254
コンテンツ	1,173	942
海外映像	6,662	7,860
その他	2,063	2,117
版權事業	13,803	18,192
国内版權	8,880	10,439
海外版權	4,923	7,752
商品販売事業	4,654	5,531
その他事業	1,320	1,315

版權事業 (↑ 前期比31.8%増)

- 「国内版權」は、「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」や「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場公開に向けたタイアップ・販促向け許諾が好調に推移したことから大幅増収
- 「海外版權」は、全世界で「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」、中国で「聖闘士星矢」のアプリゲームに加え、欧米で「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売が好調に推移したことから、大幅増収

商品販売事業 (↑ 前期比18.8%増)

- 「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場公開に向けたキャンペーン向けのノベルティグッズ等の販売が好調だったことに加え、海外のイベント物販収入もあり、大幅な増収

その他事業 (➡ 前期比0.4%減)

- 前期にあった「Dr.スランプアラレちゃん」の催事関連に相当するものがなかったものの、「聖闘士星矢」シリーズや「ドラゴンボール」シリーズの催事関連が好調に稼動したことから、ほぼ横ばい

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2017年3月期 決算総括

(百万円)	16/03 実績	17/03 実績	増減	増減率
売上高	33,612	40,747	7,134	21.2%
売上原価	20,809	25,204	4,394	21.1%
売上総利益	12,803	15,543	2,740	21.4%
販管費	5,167	5,409	242	4.7%
営業利益	7,635	10,133	2,498	32.7%
営業外収益	487	367	△119	△24.5%
営業外費用	127	138	11	8.8%
経常利益	7,995	10,362	2,367	29.6%
特別損益	△220	124	344	-
税引前当期純利益	7,775	10,486	2,711	34.9%
法人税等	2,605	3,477	872	33.5%
法人税等調整額	24	△194	△218	-
少数株主利益	-	-	-	-
当期純利益	5,145	7,203	2,057	40.0%

売上高

■ 増収幅が大きい事業

- ①海外版權[2,829] ⇒ ②国内版權[1,559] ⇒
③海外映像[1,197] ⇒ ④商品販売[876] ⇒
⑤劇場[733]

■ 減収幅が大きい事業

- ①コンテンツ[△231] ⇒ ②イベント[△4]

原価・売上総利益

- 原価率は61.9%で横ばい(前期:61.9%)

販管費

■ 販管費[+242]

- ① 広告宣伝費[+128] (前期:385 当期:514)
② 租税公課[+100] (前期:157 当期:257)
③ 役員報酬[+57] (前期:173 当期:230)

特別損益

■ 特別利益[260]

投資有価証券売却益

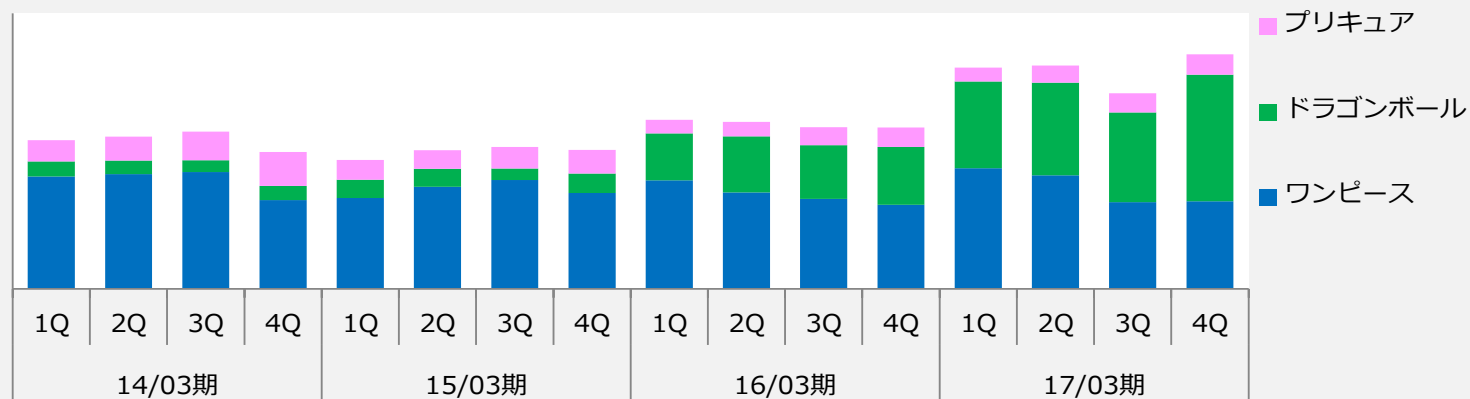
■ 特別損失[136]

固定資産評価損等

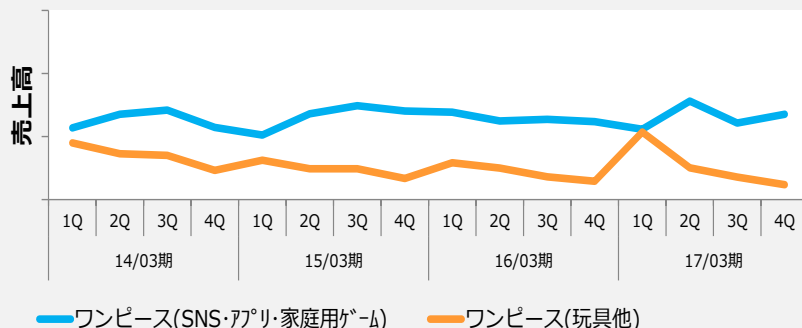
主要作品の国内版權事業の状況

- 「ワンピース」映画公開連動のタイアップ・販促向け許諾が成功
- 「ドラゴンボール」のアプリゲーム化権販売が急拡大
- 2大タイトルの比重拡大、アプリゲーム化権への依存が更に拡大

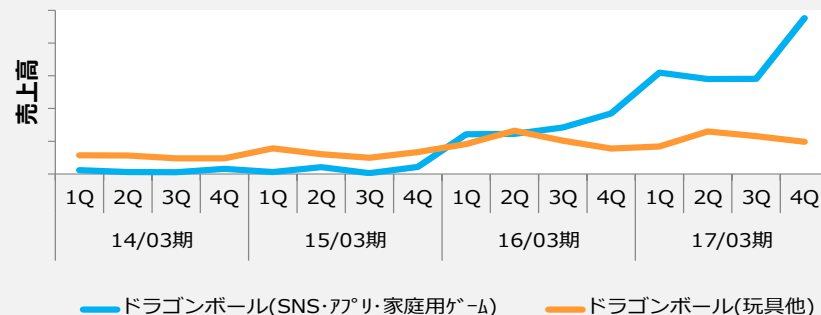
主要3作品の国内版權売上高の推移



ワンピース 国内版權売上高の推移



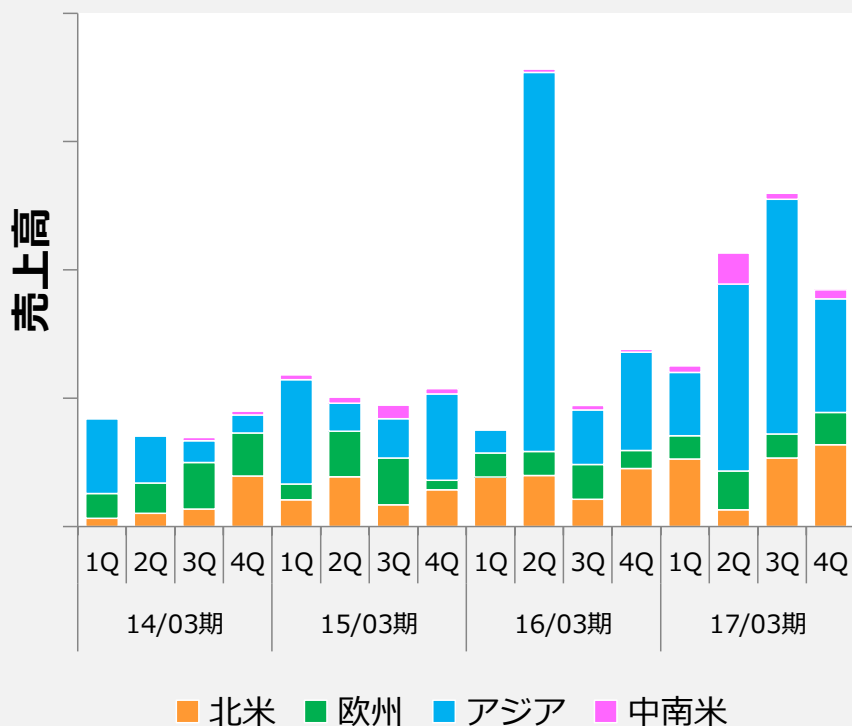
ドラゴンボール国内版權売上高の推移



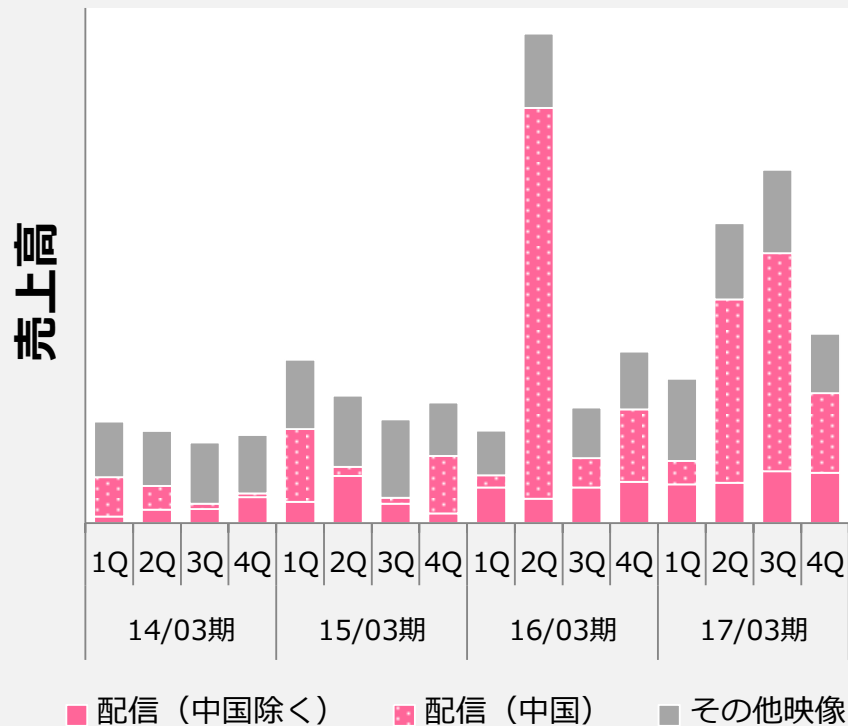
海外映像事業の状況

- 中国向け大口映像配信権の販売は引続き好調
- 『ドラゴンボールZ 復活の「F」』『ONE PIECE FILM GOLD』海外興行共に成功
- 為替の影響は受けつつも、販売増でカバー

海外映像 売上高の推移



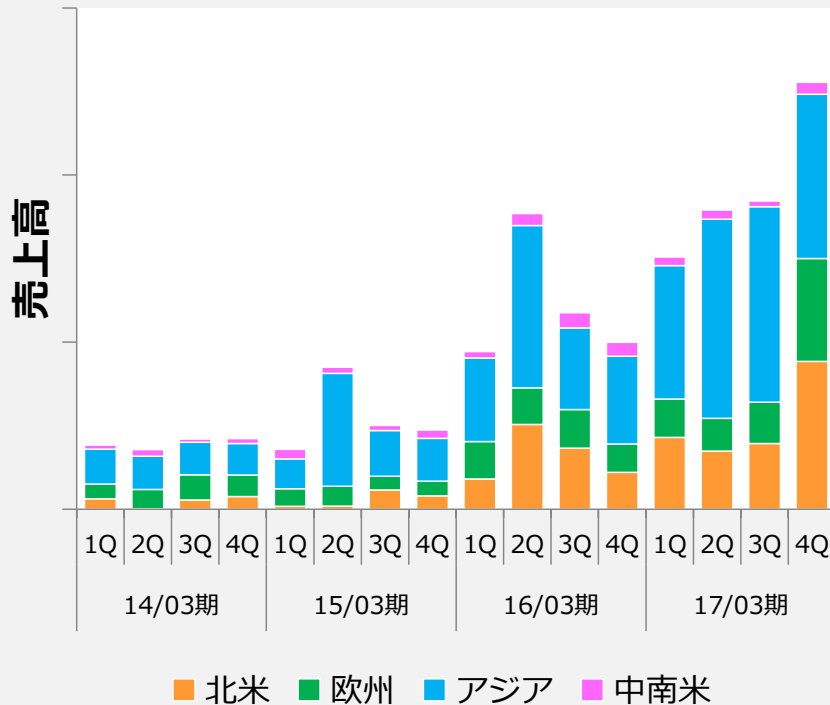
事業内訳



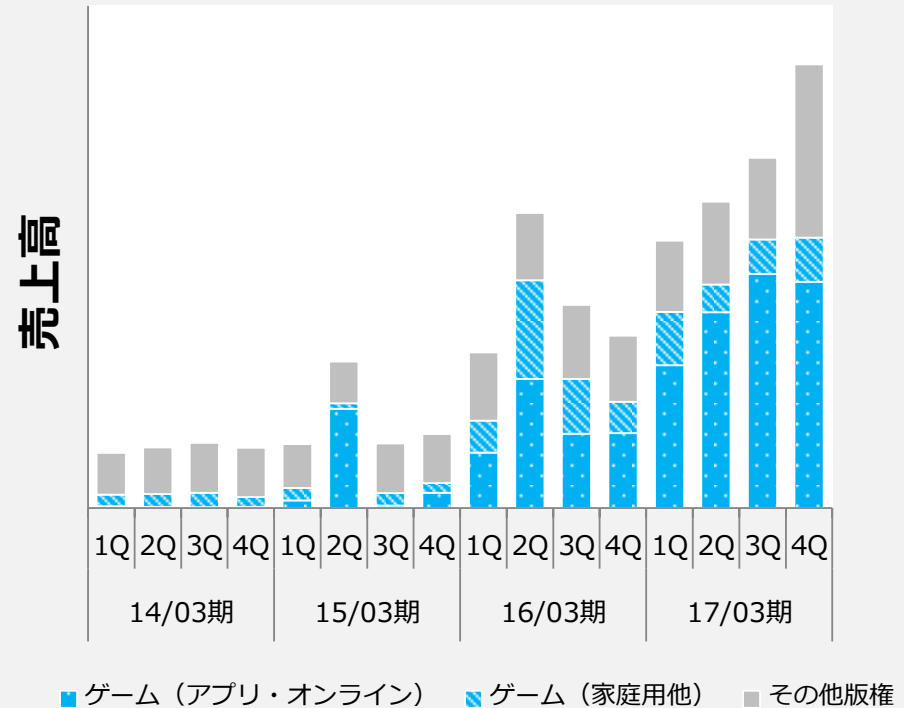
海外版權事業の状況

- 「ドラゴンボール」「ワンピース」を中心にゲーム化権販売が更に拡大
- 「ドラゴンボール」欧米向け大口複数年契約の商品化権MGを受注
- 商品化権も拡大しているが、ゲーム化権への依存が更に拡大

海外版權 売上高の推移



事業内訳



2018年3月期 業績予想(連結)

	17年3月期実績	18年3月期予想	増減率	(ご参考) 17年3月期 期初予想
売上高	40,747	33,000	△19.0%	30,500
販管費	5,409	6,000	10.9%	5,800
営業利益	10,133	6,700	△33.9%	5,700
経常利益	10,362	7,000	△32.5%	6,000
当期純利益	7,203	4,500	△37.5%	3,800

【2018年3月期 業績予想の根拠】

- 「ONE PIECE FILM GOLD」の反動減を織り込む
- アプリゲーム間の競争激化とメーカーの慎重な予測
- 欧米向けの大口複数年契約の商品化権MGの反動減を織り込む

2018年3月期 セグメント別予想

	17/03 実績	18/03 予想
売上全体	40,747	33,000
営業利益	10,133	6,700
映像製作・販売事業	15,939	13,700
劇場アニメ	1,765	1,400
テレビアニメ	3,254	2,400
コンテンツ	942	600
海外映像	7,860	7,700
その他	2,117	1,600
著作権事業	18,192	13,600
国内著作権	10,439	8,000
海外著作権	7,752	5,600
商品販売事業	5,531	4,800
その他事業	1,315	900

映像製作・販売事業（ ↓ 前期比14.1%減）

- ・「劇場アニメ」は、前期の「ONE PIECE FILM GOLD」に相当するものが無いため大幅減収の見込み
- ・「テレビアニメ」は、作品ラインナップの減少とその他音声製作の受注減による大幅減収を予想
- ・「コンテンツ」は、市場縮小に伴うパッケージ事業の減収を予想
- ・「海外映像」は、中国向けの大規模映像配信権販売は維持するも、前期の好調だった劇場上映権に相当するものが無いため、減収を予想

著作権事業（ ↓ 前期比25.2%減）

- ・「国内著作権」は、外部環境の変化やメーカーの慎重な予測から、国内著作権としては大幅な減収見込み
- ・「海外著作権」は、「ONE PIECE FILM GOLD」の反動減により、ゲーム化権、商品化ともに大幅な減収

商品販売事業（ ↓ 前期比13.2%減）

- ・「ONE PIECE FILM GOLD」の反動減を予想

その他事業（ ↓ 前期比31.6%減）

- ・「ONE PIECE FILM GOLD」の反動減を予想

2018年3月期の展開

① 既存の主力作品安定化

主力作品を軸にした多面的なビジネスを積極的に展開し、収益の安定化を目指す

■ 「ドラゴンボール超(スーパー)」

【国内】

-鳥山明 原作・ストーリー&キャラクター原案の「宇宙サバイバル編」を放映中

【海外】

-サイマル配信含む、映像配信及びTV放映を順次展開
-欧米にて玩具を中心とした商品展開を本格化



■ 「ONE PIECE」

【国内】

-「ホールケーキアイランド編」を放映中
-「ワンピースプレミアムショー2017」開催予定

【海外】

-アジア向けのイベント、ショップ等の展開を積極化



② アプリゲームビジネス

世界的展開を推進しつつ、収益の長期安定化を目指し、ライセンシーと連携して、各タイトルごとに合わせたサービス戦略を展開

■ 「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」

-全世界累計1億2,800万ダウンロード突破
-北米App store, GooglePlay売上ランキング1位獲得(4月)



■ 「ONE PIECE」のアプリゲームを複数展開

-「ONE PIECE トレジャークルーズ」
-「航海王 強者之路」
-「ONE PIECE サウザントストーム」
-「航海王 啓航」



③ 海外向け新規ビジネス展開

成長余地の大きい海外市場に向けて、既存事業の枠を超えて、新たなビジネスを積極的に展開

■ 海外向けイベント・商品販売ビジネス

-「ONE PIECE LIVE STAGE」
中国初専用劇場が上海にオープン予定
-「ワンピース麦わらストアin上海」夏にオープン

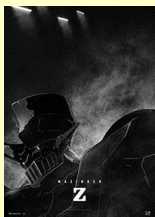


■ 海外先行作品の企画・製作

-「劇場版マジンガーZ」(仮題)進行中

■ 海外向け自社プロデュース作品の企画・開発

-複数プロジェクト進行中



展開スケジュール <国内>

展開スケジュール(国内)

映像製作・販売事業 著作権事業

商品販売事業 その他事業

17/03期
4Q

- 「キラキラ☆プリキュアアラモード」放映開始 [2/5]
- 「ドラゴンボール超 宇宙バハル編」放映開始 [2/5]
- 「おジャ魔女どれみ」SHOP in 池袋PARCO店オープン[3/17-4/5]
- 「映画プリキュアドリームスターズ!」公開 [3/18]
- CGオリジナルTVアニメ「正解するカド」放映開始 [4/7]
- 「新章突入記念! ワンピース ホールケーキアイランド展」inフジテレビ本社屋 球体展望室「はちたま」開催[4/8-5/28]

18/03期
1Q

- 「ワンピース ホールケーキアイランド編」放映開始 [4/9]
- 「拡張少女系トライバリー」アプリ配信開始 [4/13]
- 「おジャ魔女どれみ×グレイズヴァンガード」コラボ開催 [4/18-5/14]
- 「ドラゴンボールレジェンズ アルティメットミッションX」(3DS)発売 [4/27]
- 東京ワンピースタワー「ONE PIECE LIVE ATTRACTION 3『PHANTOM』」開催 [4/29]
- ドラゴンボール/Dr.スランプ アラレちゃん ストア at ISETAN [5/2-5/7]
- 「デジモンアドベンチャー THE REAL WORLD」(ラフォーレ原宿) [5/3-5/14]
- デジタルカードゲーム「スーパードラゴンボールレジェンズ」第4弾 稼動開始[5/11]

18/03期
2Q以降

- 「サンジの海賊レストラン」(USJ)開催[6/2-10/1]
- 「ワンピースプレミアムショー2017」(USJ)開催[6/30-10/1]
- 「ドラゴンボールZ THE REAL 4-D」(USJ)開催[6/30-10/1]
- 「正解するカド」Blu-ray・DVDBOX発売予定 [7/26]
- PS4・PSvita「デジモンストーリー サイバースルゥース」(3DS)発売[年内]
- 「デジモンアドベンチャーtri.」第5章 劇場上映 [年内]
- 「劇場版マジンガーZ」(仮題)公開予定

トピック

ドラゴンボール展開

- 3DS「ドラゴンボールレジェンズ アルティメットミッションX」
-4/27より発売中
- デジタルカードゲーム「スーパードラゴンボールレジェンズ」
-5/11より第4弾稼動開始
- 「ドラゴンボールZ THE REAL 4-D」超天下一武道会
-エバール・スタジオジャパンにて6/30より開催予定

ワンピース展開

- TVアニメ「ワンピース」
-4月より放映中の「ホールケーキアイランド編」
に合わせて、イベント、キャンペーンを展開
- 「ワンピースプレミアムショー2017」
-6/2よりエバール・スタジオジャパンにて
開催予定



新作展開

- TVアニメ「正解するカド」
-2017年4月より、当社初の
CGオリジナルTVシリーズとして、放映中
-Amazonプライム・ビデオで配信
- 「劇場版マジンガーZ」(仮題)
プロジェクト始動
- 「デジモンアドベンチャーtri.」第5章 年内上映予定



展開スケジュール <海外>

展開スケジュール(海外)

映像製作・販売事業 著作権事業
商品販売事業 その他事業

17/03期 4Q	「ドラゴンボール超」吹替版 北米 TV放映開始 [1/7]
	「ONE PIECE FILM GOLD」北米・ドイツ公開 [1/10]
	「ドラゴンボール超」吹替版 スペイン TV放映開始 [1月]
	アプリゲーム「ONE PIECE ササントストーム」リリース(中国以外)[1月]
	北米向け「劇場版セーラームーンR」週末興行 [1/13]
	北米向け「ワールドトリガー」興行 [4月~]
18/03期 1Q	中国向け「DB」&「アラレ」ショッピングモール巡回イベント[4/26~]
	フランス・パリ向け「ドラゴンボール シンフォニックアドベンチャー」[5月]
	台湾向け「ONE PIECE バルーンラン」開催[6/10,11]
	「劇場版マジンガーZ」(仮題)フランス・アジア国際アニメーション映画祭 特別イベント開催予定 [6月]
	中国向けアプリゲーム「航海王激戦」(YesGames)リリース [夏]
	中国向け「ワンピース 麦わらストアin上海」オープン[夏]
18/03期 2Q以降	ドイツ向け「ドラゴンボール超」放送予定 [秋]
	中南米向け「ドラゴンボール超」吹替版 TV放映開始予定 [秋]
	「ONE PIECE FILM GOLD」豪州公開予定 [年内]
	欧州向け「セーラームーン」オーケストラコンサート開催予定[年内]
	「ONE PIECE LIVE STAGE」中国初専用劇場が上海にオープン[冬]
	「劇場版マジンガーZ」(仮題)世界先行公開予定

トピック

ドラゴンボール展開

■ アプリゲーム

- 「DBZ ドッカンバトル」北米 App store, GooglePlay 売上ランキング1位獲得(4月、5月)

■ TVアニメ「ドラゴンボール超(スーパー)」

- サイマル配信含む映像配信開始
- 北米を皮切りに、欧州・中南米にて、順次吹替版をTV放映予定

ワンピース展開

■ アプリゲーム

- 「ワンピース トレジャークルーズ」韓国モバイルゲーム大賞受賞(毎日経済新聞社)[4月]

■ 「航海王激戦」

中国でYesGames社よりリリース

■ 「ONE PIECE LIVE STAGE」

中国初専用劇場が上海にオープン予定



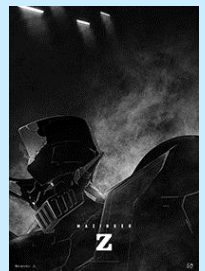
海外向け劇場企画の展開

■ 海外先行作品の企画・製作

- 「劇場版マジンガーZ」(仮題)等、複数プロジェクトが進行中

■ 自社プロデュース作品の開発

- 複数のプロジェクトが進行中



中長期の成長に向けた取り組み

企画・製作プロダクションとしての原点回帰

業界や視聴者から選ばれるスタジオであり続けるための変革と投資を加速し、技術を磨き込む

企画製作本部の新設

- ・企画部門と製作部門を統合
企画と製作の連携を強化
- ・製作部内の組織見直し
スケジュールの改善や作品品質の向上のため、部内組織を新設と集約

製作現場の環境整備

- ・スタジオの人材補強
作品を支える優秀な人材採用を促進
- ・新大泉スタジオの完成
2017年8月竣工予定
- ・製作進捗管理システムの刷新
製作プロセスの管理高度化



海外市場の更なる開拓による成長

開拓余地が大きい海外市場に向けて、既存事業の枠を超えた新たなビジネスモデルの開拓、及び海外事業の運営体制の強化

海外向け企画の強化

- ・海外先行作品の企画製作
「劇場版マジンガーZ」(仮題)進行中
- ・海外向け自社プロデュース作品の企画・開発
複数のプロジェクトが進行中

海外事業拡大に合わせた体制強化

- ・海外現地法人の人材増強
TAE(アジア)、TAI(北中南米)の人材増強
- ・海外現地法人のインフラ強化
日本本社と海外現地法人のネットワークを強化

創発企業2.0への進化

全ての社員が収益を最大化する企画や仕組みを考え、新たな価値を創出するための体制整備の推進

評価制度

- ・新たな人事制度、考課制度の見直し
人事制度の抜本的改革を進め、契約社員も含めた新たな考課制度を導入

その他の取り組み

- ・働き方改革の推進
- ・経営基盤の強化を目的とした、中途採用の積極化
- ・グローバル人材の採用育成方法の検討

配当について

期末配当

2017年3月期

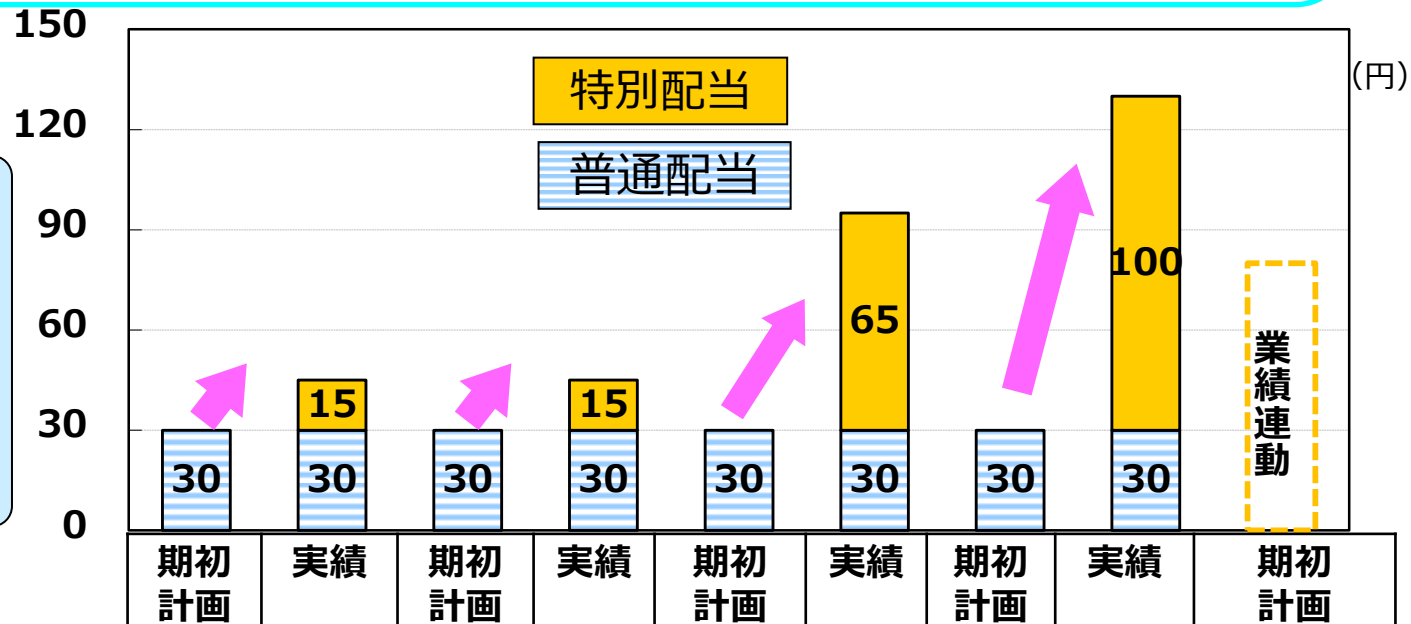
1株あたり 普通配当30円 + **特別配当100円**

2018年3月期

1株あたり 連結業績に応じ配当性向25%程度

基本方針

継続的且つ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績などを総合的に勘案して決定しています。連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。



年度	14/03	15/03	16/03	17/03	18/03
1株当たり配当金	45円	45円	95円	130円	80円(予)
配当性向	26.3%	25.2%	25.2%	24.6%	25%(予)

ご参考①(放映・配信中作品)



日曜朝8:30~ ABC・テレビ朝日系列



日曜朝9:00~ フジテレビほか



日曜朝9:30~ フジテレビほか



土曜深夜2:30~テレビ朝日ほか



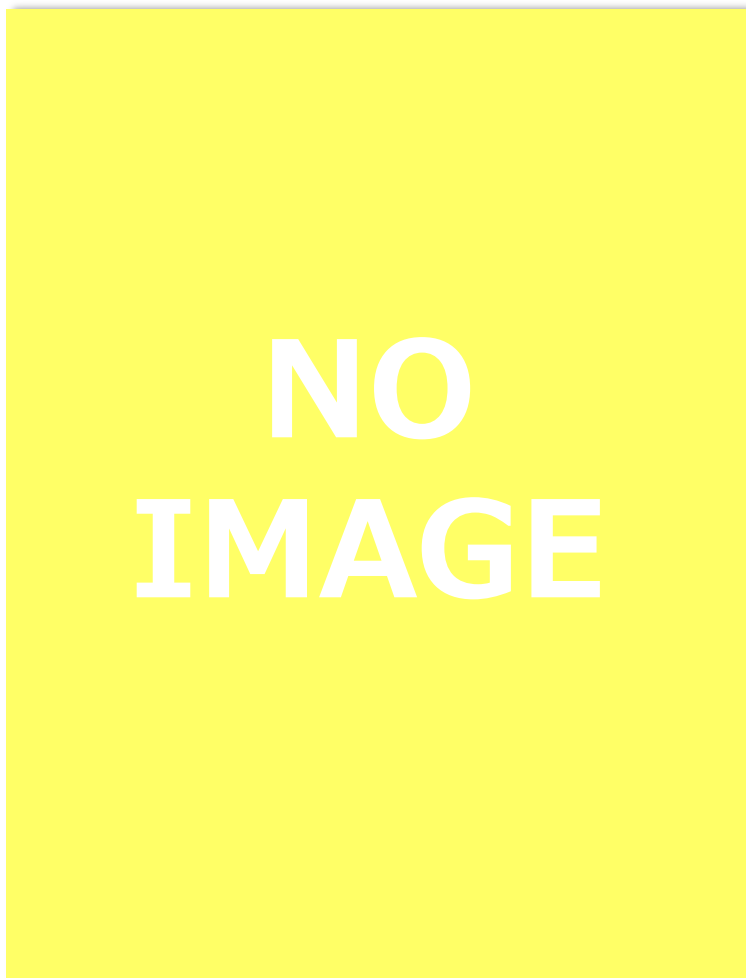
土曜朝9:30~テレビ東京系列



TOKYO MX・MBS・BSフジほか

ご参考②(2018年3月期予定作品)

『映画キラキラ☆プリキュアアラモード(仮題)』
2017年10月公開予定



『デジモンアドベンチャーtri. 第5章「共生」』
2017年 劇場上映予定



ご参考③(2018年3月期以降予定作品)

『劇場版マジンガーZ』(仮題)世界先行公開決定

